

越谷南ロータリークラブ会報

会長 染谷 宗一 幹事 荒井 信宏 会長エレクト 中島 頼光

RI会長テーマ『ロータリーに輝きを』

地区テーマ『ロータリーは人づくりそして奉仕』

クラブ会長テーマ『ロータリーであなたの素晴らしい魅力を出そう』

平成26年10月16日 第1978回例会



【点鐘】

【国歌・ロータリーソング斉唱】(奉仕の理想)

【お客様紹介】



地区職業奉仕部門委員長
隅内 道三様(川口東RC)

地区職業奉仕委員
茂呂 修二様
(さいたま新都心RC)

【会長挨拶】

皆さん本日は、私が行っている消防団活動についてお話したいと思います。

皆さんご存知かと思いますが、越谷市消防団が防災功労者内閣総理大臣表彰を頂きました。その功績は、平成25年9月2日に越谷市域北部で発生した竜巻災害での顕著な防災活動によるとのことです。

その時は当然の事をしただけ、と思いましたが、越谷に竜巻が来るとは誰も想像しなかったですし、そういった危機管理体制もできていなかったというのが本音かと思えます。本来消防団が行動する場合は、消防本部からの要請を受けて動きますが、あまりにも大きい災害のため、何をどうしていいかわからずなかなか手につきませんでした。とりあえず自分たちで考えて現場に行き、被災した方々の援助をしました。現場に行くのも道路に電柱が倒れていたり、瓦礫が散乱していて車も通れなかった所も多かったです。現在はほとんど復興して分からなくなっていますが、私たちが行っているサッカー大会の会場の芝のサッカーコートは未だに使えない状態です。



染谷 宗一 会長

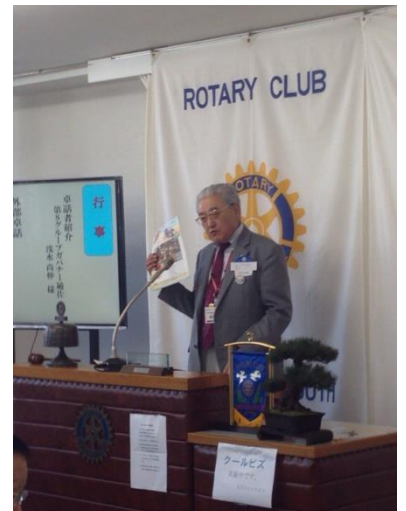
竜巻災害は本当に稀な災害かと思えます。普段の活動は、火災が起きた場合に出動出来るよう、月に2回、各地域の水利の確認・車の整備点検・ポンプ車の放水・可搬ポンプの放水・消防車庫の清掃等を行っております。また、年に大きな消防訓練が6回ほどあり、ポンプ車操法の大会・救急救命の講習・地域防災訓練・水難事故の支援等を行っております。

消防団の本来の在り方は、常備消防の後方支援となっています。今年度建物火災が、市内で81件、うち35件に放火の可能性がありますが、外に出さない、というのが放火対策のひとつかと思えます。これからも越谷市消防団は皆様の生命と財産を守るため最善の努力をして参ります。よろしくお願いいたします。

【卓話】

地区職業奉仕部門委員長 隅内 道三様(川口東RC)
地区職業奉仕委員 茂呂 修二様(さいたま新都心RC)

本日は卓話にお招き頂きありがとうございます。さて、本年度の濱野ガバナーの地区運営方針は、「ロータリーはひとづくりそして奉仕」であります。ところで、このロータリーの人づくりとは？一体どんな人を創ろうというのでしょうか？私は、当然ロータリアンを創ることと承知しています。それではロータリアンとはどんな人を言うのでしょうか？この事を皆様と共に考えてみたいと思います。私見ですが、ロータリアンには三つの特性があると思います。一つ目が、裁量権をもった職業人であること。二つ目が、職業上の高い倫理基準と高潔性を有している人であること。三つ目が、日々、奉仕の理念を実践している人であることです。例会に出席しない。奉仕活動に参加しない。いわずや奉仕活動の当事者になるなどお断りという姿勢の人をロータリアンと呼ぶことはできないでしょう。私の尊敬する元RI理事の菅野多利雄氏の講演録には、以下のような記述があります。『ロータリー会員になることは比較的容易であるが、ロータリ





アンになるには努力を要する。バッチ会員、ナイフ&フォーク会員ではゴルフクラブや社交クラブの会員と何ら変わらない。クラブ例会に出席し、奉仕活動に参加し、奉仕の当事者となることを通して、日々自己研鑽を重ねる人をロータリアンと呼ぶ。『まさに金言であります。ロータリーの人づくりは、ロータリアンを創ること。しかも

そのロータリアンづくりには、会員個々の高い自覚と意識が欠かせない。つまり、自分自身による「自分づくり」なのであります。

さて、次にロータリーの目的とは何でしょうか？会社に事業目的を記載した定款があるように、ロータリークラブにも、クラブ定款に記載された目的があります。そこには、「意義ある事業の基礎として、【奉仕の理念】を奨励し、これを育むことにある。」と明記されています。ロータリーの目的には、この【奉仕の理念】という言葉が本文を含め三カ所に記述されていますが、【奉仕の理念】そのものの説明はありません。そこで、ロータリーの哲学である【奉仕の理念】を定義する唯一の記録といわれる決議 23-34 第 1 条を見てみると、『ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。』と定義しています。これを菅野氏の表現に置き換えるならば、『利己的な欲求』とは、自分の生存を確実なものにしたいという本能的欲求であり、『他人のために奉仕をしたいという感情』とは、自分ひとりでは生きていけないという厳然たる生存の事実を意味する。故に、人は、常にこの矛盾が生み出す葛藤に苦しむ。かかる「利己」と「利他」の相克という人間生活の現実を調整をするものがロータリーの哲学（人生哲学）である。（菅野多利雄氏講演録意識）となります。いわば裁量権のある職業人が世のため人のためにという利他の心（人生哲学）をもって、日々の職業（営利行為）を営むことを通して社会に奉仕することが、ロータリーのメインストリートとも称される職業奉仕であると思います。「社会奉仕」や「国際奉仕」や「青少年奉仕」等のロータリーの奉仕活動は、このメインストリートの先における幾つかの分岐点に存在するものと私は解釈しています。

最後に私の好きな「詠」をご披露して結びと致します。

・もつ人の心によりて宝とも、仇ともなるは黄金なりけり（昭憲皇太后の御詠）

・（転じて） 経営者の心によりて宝とも、仇ともなるは会社なりけり
ご静聴ありがとうございます。

【幹事報告】

荒井 信宏 幹事

・地区の青少年奉仕部門からインターアクト委員長会議開催のご案内が来ています。



・地区のロータリー財団部門から2014年世界ポリオデー・シンポジウム及び懇親会の案内が届いています。

◎地区大会

11/15（土）会長・幹事、次年度会長・幹事
5大奉仕委員長 登録

11/16（日）会員全員 登録

皆様のご参加をお願いいたします。

待ち合わせ場所・時間については後日 FAX 致します。

【表彰式（ロータリー財団フェロー）】 土井 千代子会員



【スマイル報告】

“越谷南RCの皆様、卓話にお招き頂きありがとうございます”・・・隅内様（川口東RC）

“職業奉仕委員の茂呂です。本日はよろしくお願ひいたします”・・・茂呂様（さいたま新都心RC）

“隅内地区部門委員長、茂呂委員、卓話ありがとうございました”・・・染谷会長、荒井幹事、浅水、吉田、奥野、石塚、瀬尾、中村(直)、木村、清田、仁多見、土井、中島、岡田、石川、小林、田中、糸賀

“隅内様、茂呂様、ようこそ！”・・・久木野、水町、浜野、加藤、大熊、石野、中村(幸)、本田、深井、野呂田、石田、神谷、赤松

“久しぶりの出席ですみません”・・・海野、白井、中野

【出席報告】

例 会 日	平成26年10月16日		
会 員 数	54名	出席	37名
出席免除者	8名	欠席	17名
出席率	79%	前々回 MU	3名
MU 修正率	68%	会報担当：白井 裕太	

————— クラブプロフィール —————

【姉妹クラブ】 国際ロータリー第3460地区
台中南区扶輪社（中華民国台中市）

【例 会 日】 毎週木曜日（PMO：30～1：30）

【例会場・事務局】 〒343-0842

越谷市蒲生旭町 10-14 中野ビル 2 階

TEL 048-987-5761

FAX 048-987-5762

E-mail info@koshigayasouth-rc.jp